

若手ロータリアン研修セミナーを終えて

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長 **福田忠博**
(大阪中之島RC)

8月12日、泉ガバナーの企画により若手ロータリアン研修セミナーが地区のクラブ奉仕・拡大増強委員会、広報委員会、職業奉仕委員会及び地区幹事団の協力の基に、行われました。

若手の研修セミナーの目的は、今後、ロータリーの中核となる若手及び中堅の会員に対して、ロータリーに対する理解度と貢献度の向上を目指し、集中的に研修を行い、その後の懇親会においては、クラブの枠を超え、共に語り合い、交流を図ることによりクラブにおける自身の存在感を感じて頂く事でありませ

す。このようなセミナーは、初めての経験でもあり、参加者の人数について心配しておりましたが、221名の若手ロータリアンに参加頂きました。

セミナーはまず、泉ガバナーの挨拶に始まり、木越正司地区職業奉仕元委員長による、「ロータリーは人づくり」と題して講演が行われました。

その講演は、ロータリーの仕事は、世の中の役に立つ有能な人物を育成することであり、つまり「ロータリーは人づくり」であるということです。

そして、ロータリーが行っている人づくり事業であるロータリーのプログラムや、地区の事業を実践することが世の中の役に立つ有能な人物を作ることになる旨の内容でした。

この講演の主旨が、若手ロータリアンとして知っておくべき事であると納得した様子が見られ有意義な

講演であったと思います。

また、セミナーに関するアンケートを行ったところ、次のような回答を得ました。

1. 同様の主旨の研修会を開催した場合、参加するか?

221名中、数人を除き全ての人が参加するとの回答がありました。

2. 次回の研修会には、何を要望するか?

多様な要望があり主なものを列挙すると

●研修会を主とし、親睦交流を従とすると考える人と親睦交流を主とし、研修会を従とすると考える人がほぼ同数でした。

●親睦交流の場に音楽は不要であると考えている人が多くありました。

●食事は立食形式が良い。

●討論の場が欲しい。

●基本的なロータリー用語のレクチャー。

●泉ガバナーへの質問時間はガバナーを身近に感じ有意義でした。

●各クラブの行っている活動の発表。

その他、多くの意見がありましたが次回にはアンケート結果を企画に生かしたいと思います。最後に多くの若手ロータリアンにご参加頂き、有難う御座いました。

